



■在京外国人生徒対象の入試とは

- 都立高校における在京外国人生徒対象の入試は、外国籍の方を対象としており、日本に入国後3年以内など、一定の応募資格(※)を満たせば、受検をすることができます。
- 令和6年度の4月入学生徒の入試では、竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、国際高校の8校(※)で行いました。
- 検査内容は、作文と面接です。言語については、それぞれの検査において日本語又は英語を選択することができます。
- 在京外国人生徒対象の入試は、一般入試(学力検査に基づく入試(第一次募集・分割前期募集))よりも前の日程で行いますので、在京外国人生徒対象の入試と一般入試を併願することができます。ただし、在京外国人生徒対象の入試で合格した場合は、一般入試を受検することはできません。

■日本語指導が必要な生徒等が申請できる学力検査実施上の配慮について

●ルビ(ふりがな)を振った学力検査問題で受検することができます。

国籍を問わず、日本に入国後6年以内で、日本語指導を必要とする志願者は、申請によりひらがなのルビを振った検査問題で受検をすることができます。

■在京外国人生徒対象の入試のための事前応募資格確認について

- 在京外国人生徒対象の入試に当たり、応募資格があるかどうかは入学願書を提出する際に各学校で行いますが、東京都教育委員会では、応募資格があるかどうかを事前に確認する機会を設けています。
- 入学願書提出時に必要な書類が不足し、すぐに提出することができない場合、受検ができなくなることもあります。できる限り、事前に応募資格確認を受けるようにしてください。
- 事前の応募資格確認は、東京都庁で12月に2回行う予定です。詳細は、10月以降東京都教育委員会のホームページでお知らせします。また、在京外国人生徒対象の入試を行う志願先の学校でも行っている場合があります。

※本ページの記載は、令和6年度入試の内容に基づくものです。

在京外国人生徒対象の入試を実施する学校数や応募資格等については、現在検討中です。変更が生じる場合は、東京都教育委員会のホームページでお知らせします。